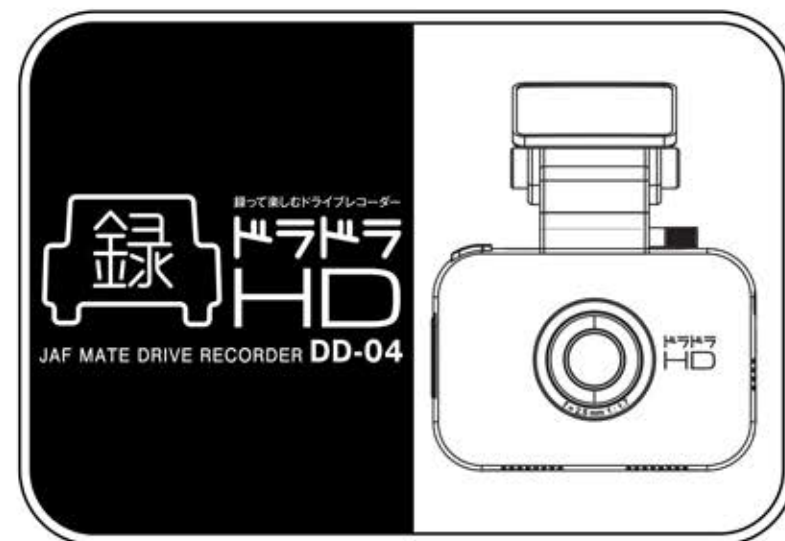


## ドライブレコーダー ドラドラ DD-04 取扱説明書



### 〈 故障に関するお問い合わせ 〉

故障に関するお問い合わせの前に、本取扱説明書をご覧ください。

▶31ページ「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

また、ホームページにも、情報を掲載しています。あわせてご覧ください

▶製品情報ページ <http://www.jafmate.co.jp/dr/>

### 〈 それ以外のお問い合わせ 〉

■ドラドラ・サポートセンター ☎0570-088-108

ナビダイヤルがご利用にならない場合は、03-3513-6564

土日祝日を除く10時～13時、14時～17時

※製品情報ページ(<http://www.jafmate.co.jp/dr/>)には、製品のFAQだけでなく、製品の詳しい情報やソフトウェアのアップデート情報なども掲載しています。

ドライブレコーダー「ドラドラ DD-04」

企画／株式会社JAF MATE社 東京都港区芝公園1-3-1 留国ビル6階

製造／CBC株式会社 東京都中央区月島2-15-13

Made in Korea

ドラドラ DD-04をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品を正しく使用していただくために、事前にこの取扱説明書を必ずお読みください。  
ユーザーの安全と製品の機能を説明している「安全に関する注意」は、特に注意してお読みください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

※取扱説明書に記載されている画面表示並びに写真は、実際の製品と異なる場合があります。

※取扱説明書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

※最新の取扱説明書は、製品情報ページ <http://www.jafmate.co.jp/dr/> でダウンロードいただけます。

※本製品の仕様及び外観は、予告無く変更することがあります。

# JAFMate

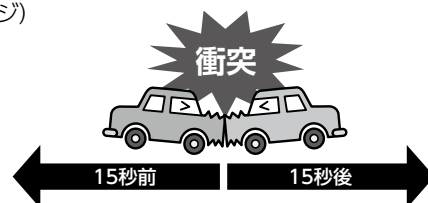
## ドラドラ DD-04 でできること

### HD画質の美しい動画撮影

HD画質(1280×720px)の美しい動画撮影が、27～30fpsと滑らかに録画・再生できます。撮影画質を落として、より長時間録画できるように設定することもできます。(→16ページ)

### 衝撃発生時の映像及びデータの自動記録

常時記録だけでなく、車両への衝撃が発生するとこれらを自動で感知し、衝撃前15秒、衝撃後15秒の映像と日時及び加速度データ等を自動記録します。(→15ページ)



### [REC] ボタンによる手動記録

本体の裏面にある [REC] ボタンを押すと、押す前15秒、押した後15秒の映像と日時及び加速度データ等を記録します。軽微な接触事故等で自動記録が作動しない場合は、この機能で記録できます。また、ドライブ中に景色を記録したい場合等にも便利です。(→15ページ)



### 4GBの内蔵フラッシュメモリが大切な瞬間を記録

SDカードを入れ忘れていても、4GBの内蔵フラッシュメモリを内蔵しているので、自動記録と手動記録は本体だけで記録できます。内蔵フラッシュメモリに記録されたデータは、事後、SDカードやUSBメモリに書き出すことができます。(→17ページ)

### [MOVIE] ボタンによる常時記録

本体側面の上部にある [MOVIE] ボタンを短く押すと、映像と加速度データ等を記録し続けます。映像と加速度データは、30秒ずつのファイルに分割されてSDカードに保存されます。常時記録中にもう一度 [MOVIE] ボタンを押すと、常時記録を終了します。(→16ページ)。



### 映像及び加速度データの閲覧

SDカード内のソフトウェア「ドラドラ・マネージャーHD」をパソコンにインストールすることで、記録された映像と加速度データを見ることができます。本体の各種設定変更も、このドラドラ・マネージャーHDで行えます。(→18ページ)

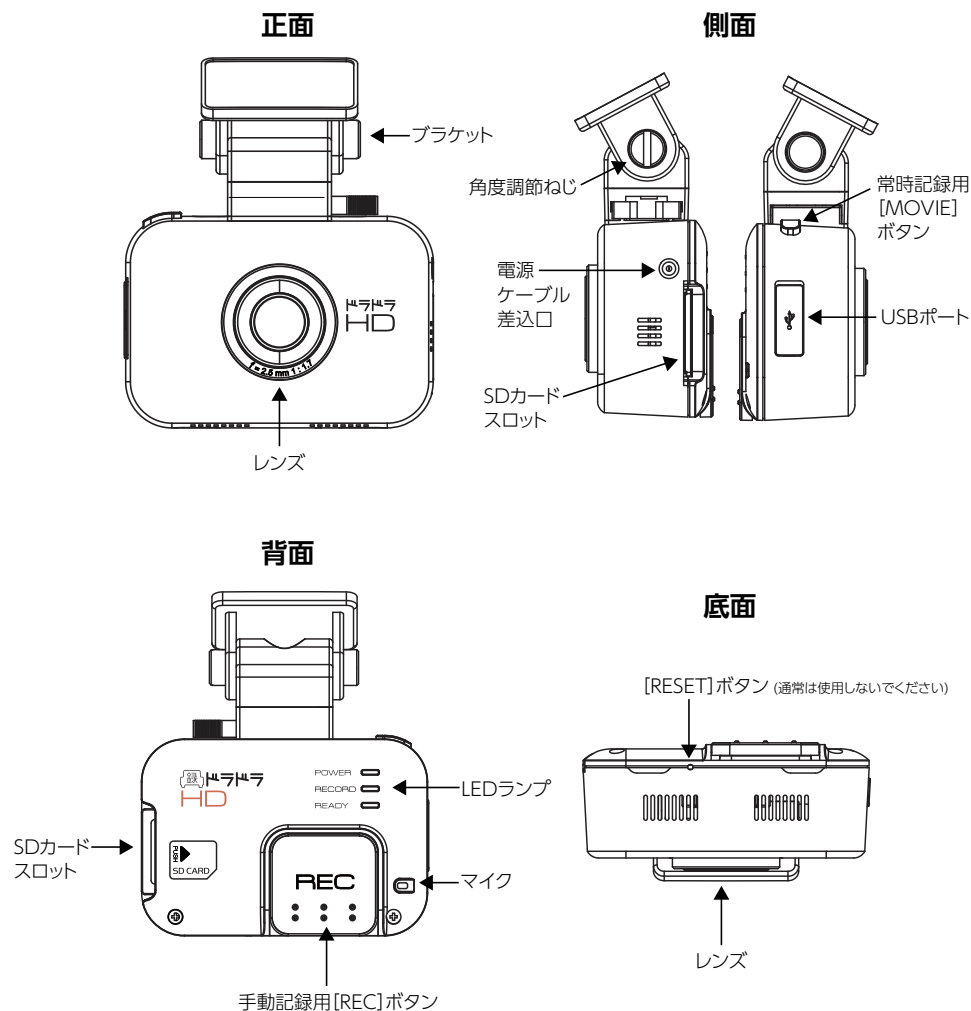


### 記録した映像がスマートフォンで見られます (別売りオプションが必要)

スマートフォンやタブレット端末等に、ドラドラで撮影した映像をダウンロードして再生したり、インターネットのサイトへ投稿することができます。  
[専用アプリ「ドラドラLive」(無料)とWi-Fi機能付SDカード(別売り)が必要]  
スマートフォンとの連携機能と「ドラドラLive」についての詳細は、製品情報ページ(<http://www.jafmate.co.jp/dr/>)をご覧ください。

## ドラドラ DD-04 の各部名称

### 本製品の各部名称



※DD-04のプラケットは、DD-03のプラケットと共通です。

### 付属品



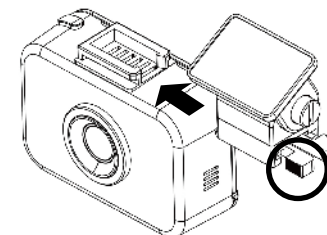
### オプション品 (別売り)

- ◆Wi-Fi機能付きSDカード  
(記録映像をスマートフォンで活用するアプリ「ドラドラLive」使用時に必要)
- ◆ドラドラ純正SDカード(16GB)
- ◆予備電源ケーブル
- ◆予備取り付け用プラケット

#### ◇本製品のプラケットの取り外し方



ヘッドのハンドルを押して、装置上面の溝にスライドさせます。「カチッ」という音がするまで、確実に押し込んでください。

※DD-04とDD-03(液晶付きモデル)のプラケット部は同一仕様で共用が可能です。



## ドラドラ DD-04 を使用する前に

この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の二つに分けて説明しています。

 <b>警告</b>	警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	注意を無視した取り扱いをすると、本製品が正常に動作しなかったり、使用者が傷害や物的損害を被る可能性があります。

### 警告

- 本製品の分解、修理、または改造は絶対にしないでください。事故が発生する恐れがあります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。車内を掃除する場合、本製品に直接水がかからないようにしてください。製品の故障、火災、または感電を引き起こす恐れがあります。また、薬品や洗剤により、本体表面が変質したり、内部部品が損傷する恐れがあります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。自動車事故の原因となります。必ず同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は、規定内で運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また、自動車の機能(エアバッグ等)の妨げにならない場所に取り付けてください。自動車事故や傷害、故障の原因となります。
- 本製品が破損・故障した場合、また熱くなる、焦げ臭い、煙が出る等の異常時は、すぐに電源を切り、使用を中止してドラドラ・サポートセンター(→裏表紙)に点検・修理を依頼してください。そのまま使用したり、内部等に触れると、火災・感電また取り付けた車の故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電磁波により医療機器に悪影響を与える可能性があります。

### 注意

- 本製品は、使用方法に間違いがない場合でも、映像やデータの記録を完全に保証するものではありません。万一、映像やデータの記録ができなかった場合も、企画者、製造者、販売者は一切の責任を負いません。
- 本製品はEMC(電子機器の電氣的・磁氣的な耐性及び不干渉性)に適切に配慮し、FCCクラスB規格にも適合していますが、条件によっては干渉を受けたり与える場合があります。EMCに関する影響が認められた場合は取り付け位置を変更し、それでも解決できない場合は使用を中止し、ドラドラ・サポートセンター(→裏表紙)へご相談ください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 一部の自動車(特に輸入車に多い)は、自動車のスイッチをオフにしてもシガーソケットに常時電源が供給される仕様になっています。自動車のスイッチをオフにしてもシガーソケットの電源がオフになることが確認できない場合は、降車される際に、シガーソケットから電源アダプタを抜いてください。エンジン停止時に本製品がオンのままの場合、バッテリー上がりの原因となることがあります。
- 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが製品の異常ではありません。
- 本製品を取り付ける際には、取り付け面の汚れをきれいに拭き取ってください。また取り付け後は、取り付け状態に問題がないかをよく確認し、その後も定期的に点検を行ってください。取り付け状態に不備があると、走行時の振動等で本製品が外れて落下し、破損・故障する可能性があります。
- 本製品の近くに、磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。故障の原因になります。
- 本製品を設置する場合、本体及びマウント部に必要以上に強い力を加えたり、ネジを締めすぎたりしないでください。故障の原因になります。
- 本製品は幼児等にはふれさせないでください。
- 本製品をいたずら等、悪意を持った目的では使用しないでください。記録した映像やデータの使用によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。本製品で記録した映像やデータの内容、それによって起因した事項については、企画者、製造者、販売者は一切責任を負いません。
- 本製品はDC 12/24V車専用です。それ以外での使用は故障の原因になります。
- 本製品のハードウェア、ソフトウェアの知的財産権は製造者が保有しています。無断複製等は、関係法規に基づき、民事上の損害賠償及び刑事処罰の対象となります。
- 夏の強い日差しの下など、設計上の動作温度(70℃)を超える場合は、装置が正しく動作しなかったり、故障の原因になります。特に、真夏の車内は高温になるため、車内の温度にご注意いただき、炎天下に駐車する場合等は、本製品を取り外してください。

## 目次

- 定期的に設定された日時を確認してください。日時がずれている場合は、取扱説明書の「日時設定」を参照して再設定を行ってください(→28ページ)。
- 本製品には、時計機能のための電池が内蔵されています。正しく設定しても、記録された映像のファイル名が実際の録画日時と大幅に異なるようになった場合は、この電池の寿命です。ドラドラ・サポートセンター(→裏表紙)へご連絡いただければ有償にて交換いたします。
- SDカードは消耗品です。長期間使用した、または、不具合が発生した場合は、SDカードを交換してください。安定して使用するために、SDカードの定期的なフォーマットをお勧めします。
- SDカードを抜く時は必ず電源が切れていることを確認してください。SDカードに記録が行われている際に抜くと、画像やデータの損傷及び本体故障の原因となります。
- SDカードを挿入する際、向きを間違えないように注意してください。以下のような使い方をすると、SDカード内の映像データが損傷することがあります。
  - ・SDカードまたは本体に、静電気や電気ノイズが加わる状況下での使用
  - ・SDカードが濡れたり、曲がったり、そのほか強い衝撃が加えられる状況下での使用
  - ・動作中にSDカードを引き抜いた場合
- 下記のような取り扱いをした場合、画像やデータが破損される可能性があります。
  - ・SDカードまたは本体に静電気や電気なノイズ加わった場合
  - ・SDカードを水にぬらしたり、曲げたり、強い衝撃を与えた場合
  - ・パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合
  - ・長時間使用しなかった場合
  - ・消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合
- 保存に必要な記録データは、本体のSDカードとは別に保存してください。本体のSDカードに記録された映像などのデータは、ユーザーの不注意や修理によって損傷したり、消去されたりします。データの損傷や遺失について、企画者、製造者、販売者は責任を負いません。重要なデータは、別のメディアに保存してください。
- アップデートは、製品情報ページ(<http://www.jafmate.co.jp/dr/>)を通じて提供いたします。

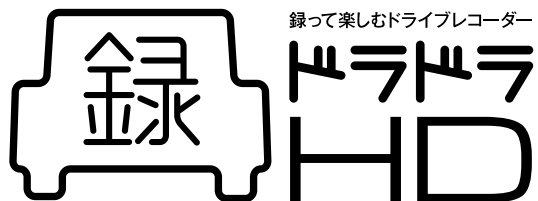
※万一の事故発生時に映像やデータが記録されていなかったり、破損していた場合でも、本製品の作動有無、使用者の事情に関わらず、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※本取扱説明書の内容に則さない使用を行った結果、発生した事故や本製品の故障に対して、一切の責任を負わないものとします。

※本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。本製品で記録された映像やデータは、裁判等の証拠として効力を保証するものではありません。

ドラドラDD-04でできること .....	2
ドラドラDD-04の各部名称 .....	4
付属品・オプション品 .....	5
ドラドラDD-04を使用する前に .....	6
ドラドラDD-04を取り付ける .....	11
取り付けに際しての注意 .....	11
取り付け方法 .....	12
電源ケーブルの固定 .....	14
動作確認を行う .....	14
ドラドラDD-04で録画する .....	15
衝撃発生時の映像及びデータの自動記録 .....	15
[REC] ボタンによる手動記録 .....	15
[MOVIE] ボタンによる常時記録 .....	16
ファイルを手動で転送する .....	17
ドラドラDD-04で動画を見る .....	18
SDカードを本体から抜いて、パソコンに差し込む .....	18
ドラドラ・マネージャーHDをインストールする .....	18
ドラドラ・マネージャーHDを起動する .....	19
ドラドラ・マネージャーHDの「SDカードの映像を見る」ボタンを押す .....	20
ドラドラ・マネージャーHDの画面の見方 .....	21
メニューボタン① .....	22
メニューボタン② .....	24
記録した映像のSDカード内の保存場所 .....	25
ドラドラDD-04の設定を変更する .....	26
衝撃検出レベルの変更 .....	27
日時の変更 .....	28
その他の変更 .....	29
① 音声記録をしたくない場合 .....	29
② 効果音を出したくない場合 .....	29
③ 画質を変更したい場合 .....	29
④ 常時記録を自動でスタートしたい場合 .....	29
ユーザー登録の設定の方法 .....	30
ドラドラDD-04の製品仕様とFAQ .....	31
ソフトウェアのアップデート .....	31
故障かな? と思ったら .....	31
ランプ・効果音と動作状況 .....	33
製品仕様 .....	34





JAF MATE DRIVE RECORDER **DD-04**

# を使ってみよう

取り付ける

➡ P.11



録画する

➡ P.15



動画を見る

➡ P.18



設定を変更する

➡ P.26

**ドラドラ  
DD-04**

## を取り付ける

⚠ 注意

最初に電源を入れる前に、SDカードを挿入してください。また、SDカードの抜き差しは必ず電源を切って[POWER]ランプが消えた状態で行ってください。本体に電源が入っているにも関わらずSDカードを抜き差しすると映像やデータが破損するだけでなく、本体・SDカードの故障の原因となります。

⚠ 最初に、すべての部品が揃っていることを確認し、本取扱説明書をよく読んだうえで、取り付け手順に従って本製品を取り付けてください。

- 本体の取り付け位置は、道路運送車両法の規定に基づく道路運送車両の保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部(ルームミラー裏側)へ設置してください。
- フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴等により記録した映像が見づらくなることを防ぐためには、保安基準の定める範囲の中で、ワイパーの可動範囲に本製品を取り付けてください。
- 本製品を取り付ける場合は、車内の他の安全装置に影響を与えないように注意してください。
- 本体及び電源ケーブルの50cm以内にGPS機能を持つ製品やETC車載器、VICS受信機や、TVアンテナ(地デジ含む)等、放送受信アンテナを設置しないでください。受信感度の低下や誤作動の原因となる可能性があります。

### 取り付けに際しての注意

1. 本製品を取り付ける際には、車を水平な場所に止めてください。
2. 本製品を取り付ける前に、フロントガラスの取り付け部を、乾いた布等できれいに掃除してください。
3. 一度取り付けたブラケットを取り外すと、テープの粘着力が著しく低下します。取り付けの前に、慎重に取り付け場所を確認してください。



フロントガラス上端より1/5以内に収まるように、また、可能な限りワイパー可動範囲内(写真の点線内側部分)に本体が収まるように取り付けてください。

※ドライブレコーダーは法令により取付位置が指定されています。

## 取り付け方法

- ①本体上部ブラケットの両面テープの剥離紙をはがします。



- ②本体をフロントガラスに貼り付け、力を入れてしっかりと圧着させます。

(注意: 両面テープを貼り付ける前に貼り付ける位置のガラス面をきれいに拭いてください。ガラス面が濡れていたり、ほこりや油分が残っていると十分に接着できず、本体脱落の原因となります。)



- ③本体が地面に垂直になるように角度を調整します。フロントガラスの傾斜状態によっては垂直にならない場合もありますが、その場合でも、本製品は上下左右とも十分な画角がありますので、やや上向き、やや下向きでもお使いいただけます。調整が終わったら角度調整つまみを回し、本体をしっかりと固定してください。



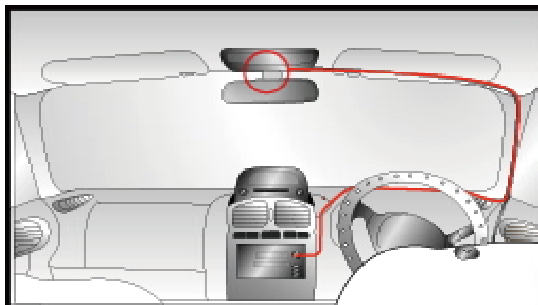
- ④電源ケーブルをシガーソケットに接続します。接続後、本体に電源が供給されると、背面の[POWER] [RECORD] [READY]のLEDランプが全て点灯したあと、起動音が鳴って[READY]が約50秒間点滅します。[READY]ランプの点滅が終わって点灯に変わったときに「ボン・ピン」と音が鳴り、本製品は記録準備ができたことを示します。



## 電源ケーブルの固定

本製品は付属の電源ケーブルで車両のシガーソケットから電源を供給します。電源ケーブルは、運転の妨げにならない位置に付属のマウントを使うなどして固定してください。

※この図は、電源ケーブルの配線例です。エアバッグの展開や他の車載機器の影響を受けないように十分注意してください。



### ◆ マウントの使い方

1. マウント裏面の両面テープの剥離紙をはがして任意の位置に取り付けます。



2. 取り付けられたマウントに電源ケーブルを挟みます。



## 動作確認を行う

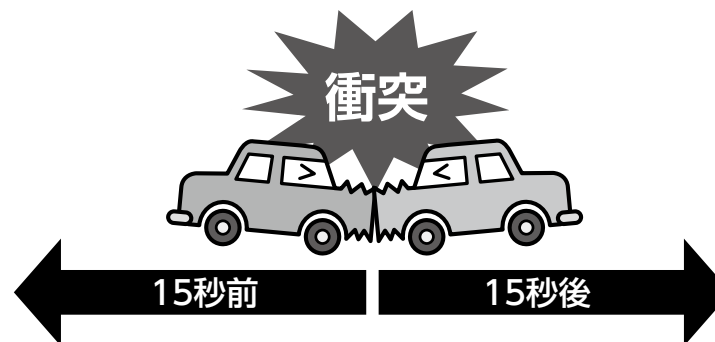
- ➡ 設置位置に正しく取り付けられていることを確認してください。
- ➡ ルームミラーの動きを妨げない位置に設置されていることを確認してください。
- ➡ 本体の角度が地面とほぼ垂直に近くなっていることを確認してください。
- ➡ エンジンを始動し、背面の[POWER] [RECORD] [READY]のLEDランプがすべて点灯したあと、起動音が鳴って[READY]が約80秒間点滅します。[READY]ランプの点滅が終わって点灯に変わったときに「ボン・ピン」と音が鳴り、本製品の記録準備ができたことを確認してください。
- ➡ [REC] ボタンを押して、手動記録が作動することを確認してください。[REC] ボタンを押したときに[RECORD]ランプが素早く点滅すると、映像等は本体の内蔵フラッシュメモリに記録されていることを示しています。その後、[READY]ランプがゆっくり点滅して映像等がSDカードに転送され、終了すると[READY]ランプの点滅が終了して点灯に変わります(自動記録の際も、同じように点滅・点灯して映像等が記録されます)。
- ➡ エンジンを切り、シャットダウン音とともに本体のランプがすべて消灯することを確認してください。
- ➡ SDカードを抜いて、映像が正しく記録されているか、パソコンで確認してください。記録した映像の確認方法は、次の「動画を見る」をご参照ください(→18ページ)。

## ドラドラ DD-04 で録画する

### 衝突発生時の映像及びデータの自動記録

車両への衝撃が発生するとこれらを自動で感知し、衝撃前15秒、衝撃後15秒の映像と日時及び加速度データ等を自動記録します。

自動車の事故、急ブレーキ、急カーブ、荒い路面等の走行で、本体に衝撃検出レベル以上の衝撃が加わると自動記録が作動します。衝撃検出レベルは、あらかじめ標準的な設定がされていますが、変更もできます(→27ページ)。衝撃検出レベルが小さいと軽いブレーキの操作でも衝撃として検出され頻繁に自動記録が作動し、衝撃検出レベルが大きいと軽微な接触事故の場合は自動記録が作動しない場合があります。



### 衝突 [REC] ボタンによる手動記録

衝撃の強さに関係なく映像を記録する機能で、本体の裏面にある [REC] ボタンを押すと、押す前15秒、押した後15秒の映像と日時及び加速度データ等を記録します。軽微な接触事故等で自動記録が作動しない場合は、この機能で記録できます。また、ドライブ中に景色を記録したい場合等にも、この機能を利用できます。



# [MOVIE] ボタンによる常時記録

本体の側面上部にある[MOVIE] ボタンを短く押すと、映像と加速度データ等を記録し続けます。映像と加速度データは、30秒ずつのファイルに分割されてSDカードに保存されます。常時記録中にもう一度[MOVIE] ボタンを押すと、常時記録を終了します。

※常時記録を開始する際は、[MOVIE] ボタンを短く押してください。長押しすると、本体内にバックアップされた映像データの転送の機能が作動します(→17ページ)。  
[MOVIE] ボタンを押さなくても、常に常時記録をするように設定することもできます。(→30ページ)

※常時記録中であっても、衝撃を検出すると自動記録が、[REC] ボタンを押すと手動記録が作動します。この際、自動記録・手動記録のデータをSDカードにコピーする数秒間、常時記録が中断されますが、コピー完了後は常時記録が再開されます。  
※常時記録中に衝撃を検出しても、自動記録が作動しないように設定することもできます。(→27ページ)

## ◆ 記録件数と時間の目安

	画 質 (ピクセル数)		ビットレート	自動記録・手動記録で 記録できる件数の目安	常時記録できる 時間の目安
16GB	HD (1280×720)	高画質	8Mbps	約440件	約220分
		中間画質	6Mbps	約550件	約275分
		標準画質	4Mbps	約800件	約400分
	VGA (640×480)	低画質	2Mbps	約1360件	約680分

※上記は、付属SDカード(16GB)の場合です。容量の大きなSDカード(SDHCのみ)を使っても自動記録・手動記録できる件数は増えません。常時記録分を増やすことができます。

画質の設定については29ページをご参照ください。

# ファイルを手動で転送する

自動記録、手動記録のデータは、通常使用時でも自動でSDカードに書き込まれていますが、本体の内蔵フラッシュメモリ内にもデータが書き込まれています。SDカードを交換した際や、SDカード内のデータが破損した場合などは、本体内のデータをSDカードに書き出すことができます。

## ◆ 本体内のデータをSDカードに書き出す方法

本製品背面の3つのランプが点灯し、記録待機状態のときに[MOVIE] ボタンを5秒程度長押しします。



「ピン・ロリン」という作動音が鳴って転送を開始します。



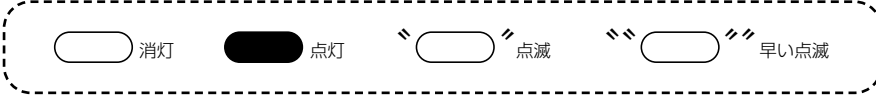
しばらくすると、背面のLEDランプは、[POWER] が点灯、[RECORD][READY] が点滅状態となります。



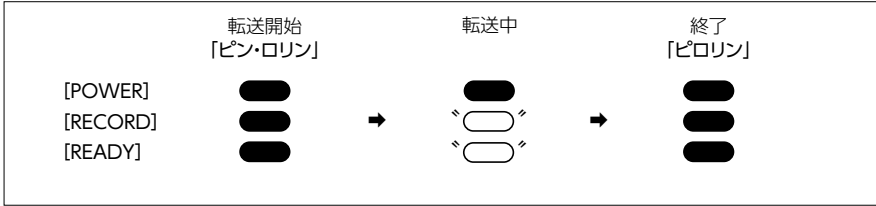
「ピロリン」という作動音が鳴って、3つのランプが点灯状態に戻ると終了です。

※転送時間は最大で15分程度かかる場合があります。  
※SDカードの代わりに、USBメモリを使うこともできます(一部使用できないUSBメモリもあります)。  
※USB メモリの認識までは10秒程度かかります。  
※SDカードと USB メモリが同時に挿入されている場合は、USB メモリに転送されます。  
SDカードに転送する場合は USB メモリを抜いてください。

## ◆ 凡例



## ◆ 内蔵フラッシュメモリからSDカード等へのデータ転送機能実行時



## ドラドラ DD-04 で動画を見る

ドラドラで記録した映像等は、SDカード内の「ドラドラ・マネージャーHD」で閲覧します。  
ドラドラ・マネージャーHDは、パソコンへインストールして使用します。

### ① SDカードを本体から抜いて、パソコンに差し込む

ドラドラで記録した映像はSDカードに入っています。ドラドラの電源が切れていることを確認して、SDカードを抜きましょう。SDカードは、指で軽く押し込むと取り出せます。  
取り出したSDカードは、パソコンの電源を入れ、起動してからパソコンにセットしてください。

⚠ SDHCに対応したパソコン、SDカードリーダーをご使用ください。

### ② ドラドラ・マネージャーHDをインストールする

(1) SDカード内の[Program]フォルダを開きます。

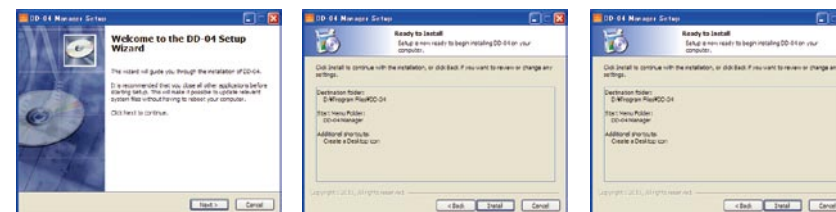


(2) パソコンのOS仕様を確認して[PROGRAM]フォルダ内の該当[DORADORA MANAGER]のセットアップファイルを実行します。

- OS 仕様が 32bitの場合 : DD04\_Manager(x86)
- OS 仕様が 64bitの場合 : DD04\_Manager(x64)

※パソコンのOS仕様は、デスクトップの「コンピューター」(もしくは「マイコンピューター」)のアイコン上で右クリックし「プロパティ」で確認できます。

(3) 下図のように[NEXT]ボタンをクリックしてドラドラ・マネージャーHDをインストールしてください。



⚠ 注意

ドラドラ・マネージャーは、WINDOWS XP/VISTA/7/8にのみ対応しています。それ以外のWINDOWSおよび米APPLE社のiOSには対応していません。  
すでにパソコンにドラドラ・マネージャーHDがインストールされている場合、インストール作業は必要ありません。  
ドラドラ・マネージャーHDをバージョンアップする場合は、必ずパソコンから古いドラドラ・マネージャーHDを削除してから行ってください。

### ③ ドラドラ・マネージャーHDを起動する

デスクトップにできたショートカットをダブルクリックして、ドラドラ・マネージャーHDを起動します。



## ④ ドラドラ・マネージャーHDの「SDカードの映像を見る」ボタンを押す

下のようなウィンドウが現れ、SDカード内のすべてのデータを左側のファイルリストに表示します。再生したいファイルを選択して再生することができます。



### ◆ 動画の再生操作ボタン



再生



停止し最初に戻る



一時停止



コマ戻し



コマ送り

## ドラドラ・マネージャーHDの画面の見方



### ◆ 画面の構成は以下のとおりです。

- ① メニューボタン → ダウンロード、セットアップ、動画再生などの機能があります。
- ② ビデオディスプレイ → この画面で動画を再生します。
- ③ ファイルリスト → 検索、または再生したファイルの一覧が表示されます。
- ④ グラフディスプレイ → 加速度をグラフで表示します。
- ⑤ 進行バー → 動画の進行状況を表示します。
- ⑥ 日時 → 再生している動画が撮影された日時を表示します。
- ⑦ アクセラレーション → 加速度を数値で表示します。
- ⑧ 音量 → 音量を調整します。

## メニューボタン①



### ファイル一覧を開く

パソコン内のファイルが一覧できます。SDカード以外の場所にあるデータを再生するときに便利です。



### SDカードの映像を見る

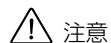
SDカード内のデータを一括で表示することができます。



### 検索する

動画ファイルを検索します。  
検索ボタンをクリックすると左の画面が現れます。

- 1) 日付別に検索する場合は、記録の最初の日から最後の日を指定して左側のボックスをチェックしてから確認ボタンをクリックします。1日だけ検索する場合は1つのボックスのみチェックしてください。
- 2) 車両番号、運転者名、会社名等、ユーザー設定で保存されたデータを選択できます。左側のボックスをチェックした後、確認ボタンをクリックします。
- 3) 全ての検索は複数の条件(AND検索)で検索可能です。



#### 注意

上の画面のようにフォルダのみ指定した状態で確認ボタンをクリックすると、全ての動画ファイルを検索してファイルリストに表示します。



### ワイド画面表示にする

HD映像を4:3から16:9のワイド画面へ切り替えます。



### 加速度データのグラフ表示

加速度をグラフで表示します。



### 印刷する

表示されている画面をプリントアウトします。



### 映像データのエクスポート

SDカードの動画ファイルをパソコンに転送(エクスポート)し、保存する機能です。SDカードをパソコンに接続した状態で、ダウンロードボタンをクリックすると右の画面が現れます。

動画ファイルの中で保存するデータの左側のボックスにチェックします。チェックをしたあと、[OK]ボタンをクリックします。



#### 注意事項

ダイアログ窓の上の部分にあるシリアル番号、車体番号、ドライバー氏名、管理番号は、「ユーザー登録の設定」で製品番号別に管理者設定値を入力した場合に表示されます。ユーザーセットアップのやり方は、「ユーザー登録の設定の方法」(→30ページ)をご覧ください。





## メニューボタン②



### 加速度(Gデータ)のエクスポート

動画ファイルから加速度(Gデータ)のみを抽出し、パソコンに転送(エクスポート)する機能です(テキストファイルが生成されます)。



### 本体設定の変更

ドラドラ本体の各種設定の変更が行えます。  
詳しくは、「設定を変更する」(→26ページ)をご覧ください。



### ユーザー登録の設定

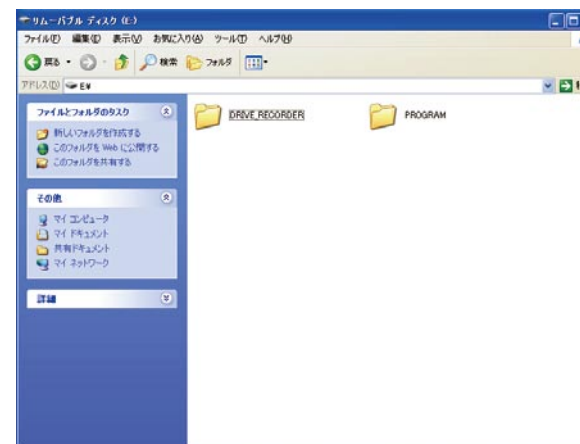
ユーザー管理に関する各種設定の変更が行えます。  
詳しくは、「ユーザー登録の設定」(→30ページ)をご覧ください。  
※個人で使用する場合は、登録しなくても問題なく使用できます。



### 本ソフトウェアについて

ドラドラ・マネージャーHDのバージョン情報が表示されます。


## 記録した映像のSDカード内の保存場所



- (1) SDカード内の[DRIVE\_RECORDER]フォルダを開きます。
- (2) [DRIVE\_RECORDER]フォルダ内の製品シリアル番号を開くと、[VIDEO\_CONTINUOUS]フォルダと[VIDEO\_EVENT]フォルダがあります。
- (3) [VIDEO\_CONTINUOUS]フォルダ内には[MOVIE]ボタンによる常時記録の映像と加速度データが、[VIDEO\_EVENT]フォルダ内には自動記録、手動記録による映像と加速度データが、動画ファイル(mp4)として入っています。
- (4) 動画ファイルのファイル名は、記録方法によって、次のようにファイル名が区別して付けられます。
  - ・自動記録 …\_G.mp4(30秒間の動画ファイル)
  - ・手動記録 …\_E.mp4(30秒間の動画ファイル)
  - ・常時記録 …\_M.mp4(撮影時間によって最大30秒の動画ファイルとして複数分割保存)

※ お客様のパソコン環境によっては、最後のファイル拡張子「.mp4」が表示されない場合があります。

## ドラドラ DD-04 の設定を変更する

ドラドラの設定変更は、ドラドラ・マネージャーHDの  
本体設定の変更  で行います。

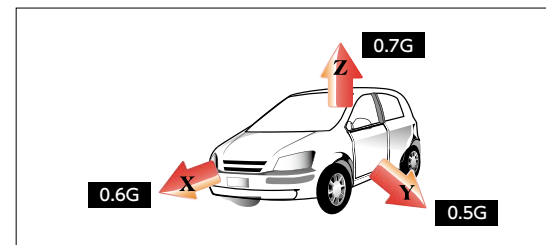


ドラドラ・マネージャーHDで設定を完了させた後、SDカードをドラドラ本体に挿入して電源を入れると設定が反映されます。

## 衝撃検出レベルの変更

X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)で自動記録を作動させる衝撃検出レベルを変更できます。

値が小さいほど小さな衝撃でも自動記録が作動するようになり、値が大きいと大きな衝撃でしか作動しなくなります。



(1) 任意のレベルまで X Y Z軸を移動させ [OK] ボタンを押します。

X軸 ➡ 車両の前後方向  
Y軸 ➡ 車両の左右方向  
Z軸 ➡ 車両の上下方向

(2) SDカードをドラドラ本体に挿入して電源を入れます。  
(3) 本製品から“ティーン・トーン”とスピーカー音が鳴ると設定完了です。

### ⚠ 注意

\*本製品は出荷時に適切な衝撃検出レベルが設定されています。通常ご使用の場合は、改めて設定していただく必要はありません。  
\*衝撃検出レベルの設定は、自動記録に大きな影響を及ぼします。不適切な設定がなされた場合、事故等の衝撃によっても自動記録が正常に作動しない場合があります。ご使用の環境でどうしても必要な場合にのみ再設定を行ってください。

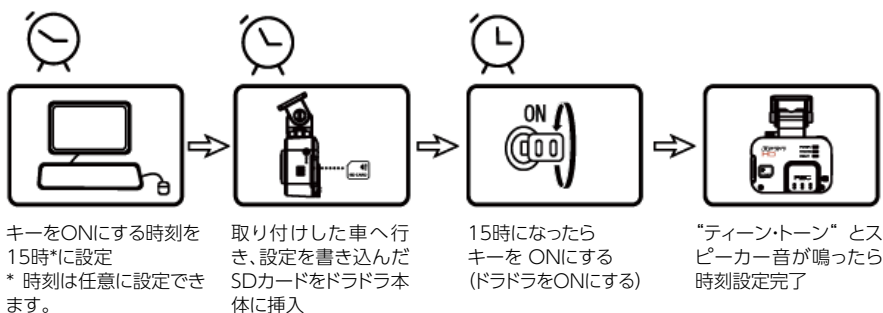
## 日時の変更

日付、時刻を設定します。



- (1) ドラドラ本体の電源を入れる日時を設定します。(下の例をご参照ください)
- (2) 「時刻をドラドラに反映する」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。
- (3) OKボタンをクリックすると、SDカードに設定日時が記録されます。
- (4) SDカードを本体に挿入して、設定した日時に本製品に電源を入れると、設定時刻が反映されます。
- (5) 本製品から“ティーン・トーン”とスピーカー音が鳴ると設定は終わります。

### ◆ 設定例



### ⚠ 注意

- \*各設定は本体にSDカードを挿入して電源を入れると設定が反映されます。日時の設定を行う際は特にご注意ください。
- \*チェックボックスをクリックしないと設定日時が本製品に反映されません。
- \*日時情報は、記録される動画ファイル名に影響します。本製品の内部時計は1年間で約20分くらいの誤差が発生しますので定期的に時刻を補正してください。

## その他の変更

### ① 音声記録をしたくない場合

工場出荷時は、チェックボックスにチェックの入った状態(音声も記録する)になっています。音声の記録をしたくない場合は、チェックボックスのチェックをはずし、OKボタンを押します。

### ② 効果音を出したくない場合

工場出荷時は、チェックボックスにチェックの入った状態(効果音が発生する)になっています。効果音をオフにしたい場合は、チェックボックスのチェックをはずし、OKボタンを押します。

### ③ 画質を変更したい場合

工場出荷時は「高画質」になっています。画質を落として常時記録の記録時間を増やすこともできます。下の表を参考に、プルダウンメニューから画質を選択して、OKボタンを押してください。高 / 中間 / 標準 / 低画質の設定ができます。

	画 質 (ピクセル数)		ビットレート	自動記録・手動記録で 記録できる件数の目安	常時記録できる 時間の目安
16GB	HD (1280×720)	高画質	8Mbps	約440件	約220分
		中間画質	6Mbps	約550件	約275分
		標準画質	4Mbps	約800件	約400分
	VGA (640×480)	低画質	2Mbps	約1360件	約680分

### ⚠ 注意事項

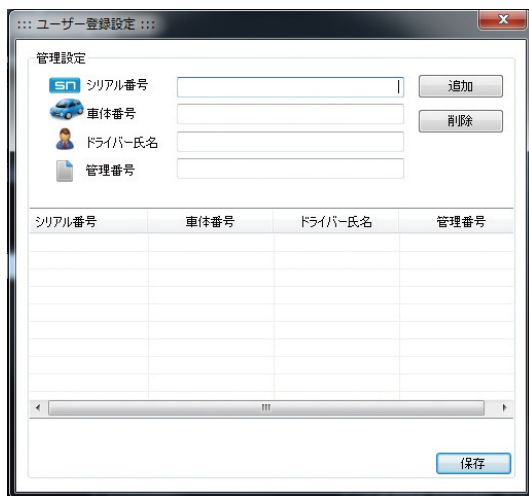
SDカードは消耗品です。SDカードの使用頻度によって記録時間が短くなります。上表は目安としてご使用ください。

### ④ 常時記録を自動でスタートしたい場合

工場出荷時は「オフ」(常時記録の自動スタートをしない)になっています。この設定を「オン」に変更することで、起動すると[MOVIE]ボタンを操作しなくても常時記録が自動スタートします。自動スタート機能を有効にするには、プルダウンで「オン」を選択し、OKボタンを押します。

## ユーザー登録の設定 の方法

ユーザー登録の設定 ボタンをクリックすると下のダイアログが現れます。  
製品番号ごとに、車体番号、ドライバー氏名、管理番号の設定ができます。  
個人で使用する場合は、登録しなくても問題なく使えます。



### ➡ 設定する方法

- (1) シリアル番号、車体番号、ドライバー氏名、管理番号を入力後、[追加] ボタンをクリックして追加します。シリアル番号、車体番号、ドライバー氏名、管理番号のうち、1つは必ず入力してください。
- (2) リストに追加されたことを確認した後、[保存] ボタンをクリックして設定内容を保存します。

### ➡ 設定を削除する方法

- (1) リストから削除するシリアル番号をクリックします。
- (2) [削除] ボタンをクリックして削除します。
- (3) リストから削除されたことを確認後、[保存] ボタンをクリックして設定内容を保存します。

## の製品仕様とFAQ

### ソフトウェアのアップデート

本製品は製品改善のため、ソフトウェアをアップデートする場合があります。  
アップデートの情報は、製品情報ページ(<http://www.jafmate.co.jp/dr/>)でご確認ください。アップデートのための作業は、ご自身でお願いします。出張等によるアップデートサービスは行っていません。

### 故障かな？ と思ったら

製品に異常があった場合下記のようなチェックをしてください。

映像が記録されない	1) 本体にSDカードが挿入されているかご確認ください。
	3) 衝撃検出レベルの設定によっては軽い衝撃を検出せず、記録しない場合があります。
映像の品質が 良くない	本体のレンズが汚れていないか確認し、汚れていた場合はメガネ拭きなど柔らかい布でレンズを拭いてください。 また、車両のフロントウィンドウの汚れも映像に影響を与えますので、フロントガラスをきれいに拭いてください。
本体の[POWER] ランプが消えている	本体の電源ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
[RECORD]ランプ が点灯しない	本体からSDカードを抜き出して電源を入れるか、電源を入れても正常にならない場合はSDカードをフォーマットした後、再度電源を入れてください。 SDカードをフォーマットした場合、SDカードを本体に挿入し、電源を入れて起動すると、SDカード内に本体情報が記録され、映像の記録とドラドラ・マネージャーHDでの認識が可能となります。SDカードをフォーマットすると、中にある動画はすべて消去されます。動画は必ず事前にパソコンに保存するようにしてください。



記録時間が短い映像がありますが故障ですか	起動直後や映像の記録直後等、記録前の映像がない場合、記録時間の短い映像が記録されることがありますが、故障ではありません。
ドラドラ本体にSDカードが挿入されているのに、[RECORD] ランプが点灯しない	<p>ドラドラ本体が、SDカードにアクセスできない状況を示します。この状態で[MOVIE] ボタンを長押しすると、SDカードをフォーマットすることができ、ドラドラ本体がSDカードを認識、[RECORD] ランプが点灯状態に復帰できることがあります。なお、この機能を作動した後は、ドラドラ本体は自動で再起動します。再起動し終わるまで数分程度、そのままお待ちください。</p> <p>フォーマット機能を作動しても、[RECORD] ランプが点灯しない場合、SDカードに不具合の原因がある場合があります。ドラドラ付属SDカードと同じSDカードを新規にお買い求め、お試しください(付属SDカード以外のSDカードは、動作保証外となります)。</p> <p>※ SD カードをフォーマットすると、録画した映像などの記録データは一切消去されます。いったん消去されたデータは復旧することはできません。</p>

また、ボタンを押しても反応しない、[POWER] ランプ点滅(エラー発生)などの不具合が生じた際は、リセットボタン(4ページ参照)を押してください。

これらで問題が解決しない場合は、下記ホームページのFAQをご参照いただくか、お電話にて状態をお知らせください。

製品情報ページ <http://www.jafmate.co.jp/dr/>

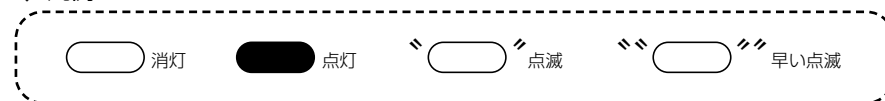
ドラドラ・サポートセンター ☎0570-088-108

ナビダイヤルがご利用になれない場合は、03-3513-6564

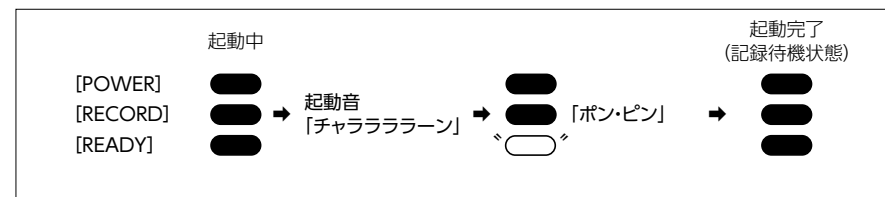
土日祝を除く10時～13時、14時～17時

## |||| ランプ・効果音と動作状況

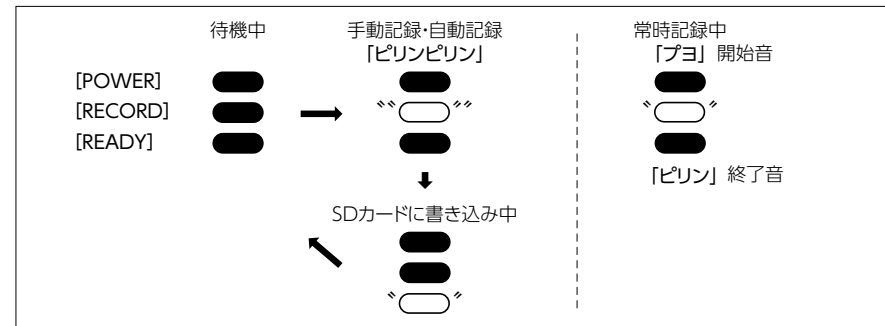
### ◆ 凡例



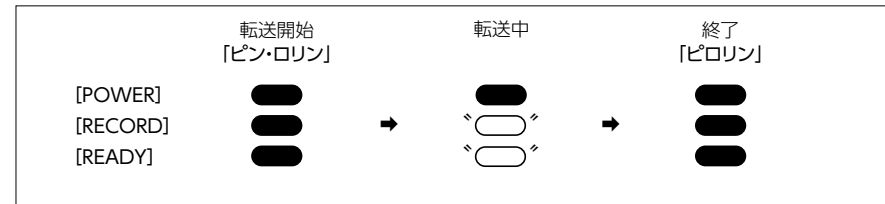
### ◆ 起動時



### ◆ 待機状態と記録状態



### ◆ 内蔵フラッシュメモリからSDカード等へのデータ転送機能実行時(→17ページ)



製品仕様

◆ 本体

電源電圧	DC12V/24V
最小可動電圧	DC 9V
最大可動電圧	DC 32V
消費電力	Max. 3.0W
作動温度範囲	-20℃～70℃
保存温度範囲	-40℃～80℃
フレーム数	27～30fps
レンズの画角	水平 90.2°, 垂直 67.5°, 対角120.5°
記録映像サイズ	1280 x 720ピクセル (HD)
バックアップ電源	リチウムポリマーバッテリー
内部メモリ	フラッシュメモリ (4GB)
付属メモ리카ード	SDカード (16GB)
本体サイズ	80(W)X55(H)X32(D) mm
本体重量	100g

◆ ソフトウェア要求スペック(ドラドラ・マネージャーHD)

OS	Windows XP, Vista ,7, 8,
メモリ	1G RAM
ハードディスク	4GB以上の空き
CPU	Pentium4 2.8GHz以上推奨
解像度	1024x768以上推奨